キャンパス / Campus	宇都宮キャンパス / UTSUNOMIYA		
科目名 / Course Title	世界の経済 / Word Economy		
担当責任者 / Instructor	宋 宇		
開講期 / Semester / Term	前期 / SPRING		
履修年次 / Target Grade	1,2,3,4		
単位数 / Credits	2.0		
分野・必修選択別 / Category / Required or Elective	専門科目選択必修 選択必修 / Required Elective		
科目ナンバー / Course Number	ECP1-B5001		
ディプロマポリシー、修得目標との関連 / Diploma Policy / Learning Outcome	要件所属・要件年月 / Course Name・Requested Month and Date	ディプロマポリシー、修得目標 / Diploma Policy / Learning Outcome	DP値 / DP Point
	経済学部地域経済学科(202204)	[A1] 経済に関する基礎知識を理解できる	1
		[A2] 経済学の基礎的理論を説明できる	1
		[B10] 自律・自立して学修することを通して各地域固有の問題を理解できる	1
		[B11] さまざまな地域に広く目を向けることを通して各地域に共通する問題を理解できる	1
	経済学部地域経済学科(202304)	[A1] 経済に関する基礎知識を理解できる	1
		[A2] 経済学の基礎的理論を説明できる	1
		[B10] 自律・自立して学修することを通して各地域固有の問題を理解できる	1
		[B11] さまざまな地域に広く目を向けることを通して各地域に共通する問題を理解できる	1
	経済学部地域経済学科(202404)	[A1] 経済に関する基礎知識を理解できる	1
		[A2] 経済学の基礎的理論を説明できる	1
		[B10] 自律・自立して学修することを通して各地域固有の問題を理解できる	1
		[B11] さまざまな地域に広く目を向けることを通して各地域に共通する問題を理解できる	1
	経済学部地域経済学科(202504)	[A1] 経済に関する基礎知識を理解できる	1
		[A2] 経済学の基礎的理論を説明できる	1
		[B10] 自律・自立して学修することを通して各地域固有の問題を理解できる	1
[B11] さまざまな地域に広く目を向けることを通して各地域に共通する問題を理解できる		1	
授業の概要 / Course Description	<p>本講義は3つの観点に力を入れ、それぞれ単独のテーマ設定を行う場合もあれば、観点ごとに内容を交えながら進める場合もあります。</p> <p>観点1では、国際比較の側面から世界経済の全貌を確認します。その際、関連する経済用語について、経済学部以外の学生でも理解できるよう平易に説明します。経済学部にも所属する学生にとって、経済学に関する最低限の専門知識を学ぶことができます。経済学は非常に身近な分野であり、誰もが経済活動を行っているため、皆が経済の主人公となっています。</p> <p>観点2とは、近年話題になっている国を事例国として取り上げ、海外の経済事情や出来事について一緒に考え、分析します。経済が動いていることを実感してもらい、固定概念が事実と異なる場合もあれば、日本で当たり前と思うことは海外ではあり得ないと見なされる場合もあります。考え方は多様で、正解のない問いや課題が非常に多く、それを解く自体に意味があります。解釈によって異なる展開が生まれることを体感してもらいます。</p> <p>観点3とは、新聞やニュース、経済、社会のさまざまな問題について、感情的に語らず、自分の考えを論理的に示し、メディアなどの解説に依存せず、皆で話し合いながら内容を共有します。</p> <p>この授業では、DP1(ディプロマポリシー1)を習得します。</p> <p>本講義の設定基準： 経済学に入る前の準備科目として設定しながら、幅広く世界経済の流れや動きについて紹介し、わかりやすく丁寧に、経済用語、経済現象、原理・理論などを説明します。 多面的に物事を考える力を養い、履修者に自ら考える姿勢が求められます。</p>		

授業の到達目標 / Course Objectives	本講義の到達目標を4つ設けています。授業開始前（第1回）と授業終了後（第14回）で、下記の日 標アンケートを実施してもらいます。履修前後の変化を自分で確認し、自分の成長を可視化するこ とができます。 世界経済の流れと動きを知り、視野を広げることができます。 自ら考える力を養い、文章のまとめ能力や、一定のトピックサーベイ能力を高めることができま す。 正解がない問題に取り組み、考え、解決していくことが大学での学びであることを理解すること ができます。 感情的にならず、またメディアの解説に頼ることなく、履修者同士のコミュニケーションを通じ て、多様性のある社会について理解を深め、授業を通じて友人を作ることができます。	
成績評価の方法および基準 / Method of Evaluation	方法および基準 / Method of Evaluation	試験 / Exam(s) 50 % その他 / Others 30 % グループワーク / Group Work 20 %
試験・課題に対するフィードバック方法 / Method of Feedback on Exams and Assignments	フィードバック方法 / Method of Feedback on Exams and Assignments	授業内で解説を行う / In-Class Feedback、LMS等に解説を掲載 する / Feedback on LMS、その他 / Others
授業形態 / Course Style	講義 / Lecture	
この授業におけるアクティブ・ラ ーニングを実現するための教育手 法 / Active Learning Method in Class	手法 / Active Learning Method in Class	グループワーク / Group Work、プレゼンテーション / Presentation
授業におけるICTの活用 / Use of ICT in Class	双方向授業（クリッカー、タブレット端末等を活用） / Interactive Class(Use of PRS(Personal Response System), Tablet, etc.)	
事前事後学修の内容およびそれに 必要な時間 / Study Required Outside of Class	事前学修：30分～1時間程度 新聞記事、ニュースのチェックを行い、リアクションペーパーや日誌のために情報を収集し、また は作成します。 事後学修：1時間～2時間程度 授業内容を復習しながら、LMSの掲示板機能を用いて、投稿文書を作成します。	
教科書 / 参考資料（図書・映像） / Textbooks and Reference Materials	教科書：なし。 毎回、プリントを配布しますので、1つのファイルに綴じ、毎回持参してください。	
その他履修上の注意点 / Notes	<ul style="list-style-type: none"> ・中国では、「万事始まりが難しい」という諺があります。実は1年生時の習慣づくりや学習態度な どは、ほぼ大学の4年間が決まると言っても過言ではありません。良い始まりを良い習慣になるよう 、心をかけてください。 ・学習する過程を楽しんでください。過程を重視することにより、良い結果が訪れ、達成感を味わ うことができ、さらにやりたくなるという好循環になります。 ・大人としての礼儀作法を考えてほしいです。 ・初回のガイダンスにも授業内容があるので、履修したい方は必ず出席してください。 ・この授業は、3回以上欠席する場合、追加課題が求められます。 	
実務経験のある教員による授業 / Instructor's Practical Experience		
その他外部資料等	外部資料1 / File1	
	外部資料2 / File2	
	外部資料3 / File3	
	その他コメント / Comments	

授業計画詳細 / Course schedule

曜日・時限・組 / Day・Period・Class	担当教員 / Details of the instructor	学習内容・行動目標 / Content of study・Goal to act	備考 / Notes
第1回	宋 宇	ガイダンス&イントロダクション	授業後、LMS上で動画配信をします。後で履修する方は必ず確認してください。最初から履修しようと考えている方は、必ず出席してください。
第2回	宋 宇	経済学&基礎原理 (市場経済とは)	
第3回	宋 宇	経済学&基礎原理 (GDPとは、市場の役割、政府の役割)	
第4回	宋 宇	今または今後のGDPからみる世界の経済	実践編、グループワーク
第5回	宋 宇	世界経済の歩み (パクス・ブリタニカ)	
第6回	宋 宇	世界経済の歩み (パクス・アメリカナ)	
第7回	宋 宇	これまでの経済、金融、社会危機について知ろう	グループワーク
第8回	宋 宇	グローバル化の進展について	グループワーク の続き &まとめ
第9回	宋 宇	グローバル化、市場の役割、政府の役割について考える	
第10回	宋 宇	金融市場と中央銀行の役割	
第11回	宋 宇	貿易と貿易摩擦	
第12回	宋 宇	人口問題、人口ボーナスの経済効果	
第13回	宋 宇	環境と経済	
第14回	宋 宇	外交と経済	グループワーク
第15回	宋 宇	授業の総括	配付した資料に基づき、個人プレーで授業まとめをしてもらいます。期末テスト代わりになります。